
僕は干渉者

T o m106

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕は干渉者

【Nコード】

N0337Y

【作者名】

Tom106

【あらすじ】

主人公の速水 優斗の使命は
それぞれのカップルを見守ること
干渉者であった

プロローグ

僕は、速水 優斗

僕は、誰からか、こんな司令が出ていた。

それは

1つのカップルの干渉をすること。

簡単に言えば、1つのカップルを見守ること。

そのカップルから、恋愛的なデータを取ること。

それを、報告書にまとめること。

それが、僕の使命

干渉者の絶対してはいけないこと

それは

恋愛をしないこと

僕にとって

恋愛とは

絶対に許されないこと。

それが、僕の使命。

恋愛とは何か？

人とは何か？

それぞれのカップルの愛の形を見つめていく物語

見えるモノ

干渉者という使命があっても僕はごく普通の中学生。
当然、学校には普通に通う。

「おゝい。待ってくれよ」

僕に声をかけてきたのは、新井 健人

僕の親友である。

健人は、女子からも人気があり、かなりモテるほうなのだが
健人は付き合うのを拒否している。

ちなみに、健人が、告白された数は、約37回だとか……

それなのに、なぜ付き合わないのかと言うと、

「嫌な思い出を思い出すんだよ……」

いつも言う。

僕は、知らないが、過去にトラブルがあつたらしい。
それが、原因で、精神がかなりおかしくなっていた。
今は、かなり明るいが……

「おい、待ってって言うてんだから待ってくれよ」

「ああ、ゴメン。考えごとしてた」

「ったく。お前はいつもそうだよな。」

皆、僕が干渉者だということは知らない。

いや、知られてはならない。

「はあゝ、俺、今日宿題やってない……どうしよ」

話しかけたので、返事をかえす。

「お前にとつては、いつものことだろ？今更そんなこと思うなよ」

「いや、それが、この前、親が俺の成績を見て、笑いながらこう言
ってきたんだよ」

「何って？」

「次、これ以下の成績を持って帰ってきたら、アナタの首が飛ぶよ
(笑) って」

「うわあ、すげえなお前の母さん」

「ああ、それで、やれるもんならやってみろって言ったら」

「言ったら？」

「家中のぬいぐるみ集めて、そのぬいぐるみの首を……」

「分かった！分かったからそれ以上続きをしゃべるな」

健人の母さんは、かなりやばい。

例えば、健人の家で飼ってる犬が、吠えてうるさいので、その犬の口をガムテープでふさいで黙らした伝説がある。

他には、近所のガキが近くで悪さをしていたので、家に連れ込んで、3時間土下座させていたりとか…

ともかく、すごい母さんなのだ。

少なくとも、冗談ではない……

「うちの母さん、何か無茶苦茶で……。何やりてえかさっぱり分かんねえよ」

「ははは（苦笑）」

こんな感じで僕は、今日も学校に通っていた。

見えるモノ（後書き）

感想＆評価よろしく願いします

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0337y/>

僕は干渉者

2011年11月3日02時09分発行